



ASAHIKAWA PROBUS CLUB · SINCE 2005

旭川プロバスクラブ

絆（きずな）

旭川プロバスクラブ
会報 第204号
発行 2022年6月
会長 中田雅昭
幹事 今津寛介

— 6月FAX例会 —

ごあいさつ

会長 中田雅昭

新緑のまぶしい初夏の候、皆様お元気でお過ごしでしょうか。今月号をもちましてFAX例会は最終号となります。会員の皆様には原稿にご協力頂きまして誠にありがとうございました。私自身も毎月原稿を書いていたので最終回でホッとしています。

さて、来月7月からはプロバス新年度は通常例会を行ないます。例会スケジュールを一部変更とし、一大事業でありました大雪さんろく祭りの開催に合わせての露店の出店は今回中止いたします。振り返りますと10年以上続けてきた事業ではありますが、出店を始めてから

会員皆10才以上年をとって、会員や役員の負担が大きいことや出店テントでの密を避けるために判断いたしました。社会奉仕という観点からはさんろく祭りに繰り出してお祭りを盛り上げ、お金を使って、さんろく祭りを楽しみましょう！

プロバスクラブの会長を仰せつかって、3年目にてようやく例会を開催出来る運びとなりました。幹事には新たに高橋千鶴子幹事に入れ替わり、他の役員には続投して頂き、力強い味方の事務局大久保さんの体制で新年度スタートします。楽しい例会を目指して役員一同精一杯頑張りますので、よろしく願いいたします。

まずは、7月の例会でお会いできるのを楽しみにしております。

今月は 親睦交流委員会 の皆様です

「どこまでも青い積丹ブルー」

布子克敏

皆様、大変ご無沙汰しております。布子克敏と申します。

今回は私の趣味についてお話させていただきまますので、どうぞよろしく願い致します。

私は子供たちと夏になるとキャンプで海川へと毎年遊びに行きます。その中でも最近ハマっているのが、シュノーケリングと呼ばれる呼吸用のパイプ、マスク、フィン（足ひれ）をつけて水面や水中を泳ぎながら海の景色や海中を楽しむマリンレジャーやSUP（サップ）(Stand Up Paddleboard スタンドアップパドルボード)と呼ばれるボードの上に立ち、パドルを漕いで水面を

進んでいくマリンレジャーにはまっています。それを積丹ブルーと呼ばれる積丹半島でやるのが最高なんです。通常の海よりもコバルト系の青みが強い海のブルーと空のブルーが水平線で一体となる積丹ブルー。沖縄の海に負けない透明感は感動ものです。

ぜひ皆様も今年の夏の遊びに計画されてみたらいかかでしょうか。

「 愉快的仲間 」

野口和雄

会員の皆様とは久しくお会いしていませんが、元気で日々過ごしている事と思います。

ようやくコロナ禍も終息の兆しが見えてきた様で、私の周りでも少しずつ活気づいています。

歌好きな仲間4人で5月末に一泊二日で層雲峡温泉に行ったときの話です。

旅行の『目的』は、

- ◇ 温泉に入りコロナ禍の疲れをとること
- ◇ 美味しい料理を堪能すること
- ◇ 気ままな時間を過ごすこと

バスの車内で早速ビールで乾杯!揺れる車内で飲むビールは格別旨いが酔いも早い。目的地に着くなり、温泉、サウナと一通り満喫した後の仲間と食事と酒もまた格別に美味しい。大声で話が出来ないのが残念ではあるが・・・

食事も終わり、寝るには少し早い時間。友人の一人が、「カラオケBOX予約したからこれから歌うよ!」65歳のオジサンたちが歌うこと5時間、仲居さんの「時間ですよ~!」でようやく終了。もちろん、マスクに2mの間隔を取り1曲ごとに消毒!!

目的を果たした4人、帰りの車中では一言も

話さず、爆睡でした。

次年度から通常例会と聞いています。皆様にお会いできる日を楽しみにしております。

「そうか、自分のためだったんだ」

森山 領

おかげさまで森山病院は今年70周年を迎えることができました。65年前に先代が掲げた先見的な健康・医療・福祉総合構想を受け継ぎ必死に実行して参りましたが、幸い逆風、プレッシャーに耐えることができ、北彩都地区に予防医学を中心としたウェルネスセンターとともに新病院をオープンすることができました。お世話になった多くの皆様方には本当に心より感謝申し上げます。

病院内に健康レストラン(ルパ・サニタス)、メディカルフィットネス(サニタス24)が併設され、病院受診とは関係なく一般の方も利用でき、北彩都ガーデン、鏡池の風景に癒されながら健康づくりができる場所となっております。

私も外来診療時に、患者さんに「病院にかからなくてもいい体作りをしましょう。体重をもう少し落としましょうね。」などとお話すると、多くの患者さんは私の体を見つめながら「これは先生のために作られたのですね。」と・・・ドキッ!!

「60才からの手習い」

山田陽子

「〇〇才の手習い」と良く言われていますが、私は60才でゴルフを始めました。

きっかけは、ある日いつもの様に、コンクリー

ト製の階段をリズムよく鼻歌まじりに小気味良く『タッタッタ』と駆け上がっていると・・・すねに激痛!たぶん会員の皆様も1度はこの激痛に歯を食いしばられた事とおありでしょう。

そんな事があり、かねてより友人知人に誘われていたゴルフを、老体にムチ打ち始めてみました。

1年目はとにかく自分の意思とはおかまい無しに左右、右左へ飛びまくるボールを探すのに精一杯。2年目はラウンド仲間に迷惑がかからない様に・・・そんなこんなで、3年目にして、ようやくゴルフ場の四季折々に咲く花や、木々の新緑の美しさに目をむける事ができるくらいのプレイになってきました。

ゴルフシーズンも今期で7回目になります。やさしいゴルフ仲間に恵まれ、ヘタッピーな私でも月に数回お誘いがあり、一丁前に〇〇コンペ等と名の付くゴルフにも参加できる様になりました。

これからも、健康に気をつけ日常に感謝しながらゴルフを楽しんでいきたい・・・と考えております。でも、いくつまでプレイできるかしら・・・。

人間の恐怖

「釣行でのヒグマとの遭遇体験を

ヒグマの気持ちになって」

山本 探 溪 (山本 秀勝)

この山一帯は僕たちの領土。人間が勝手に住み着いて林道や畑ができて住みにくくなったんだ。山裾には超高級レストランのデントコーン畑、冬眠前には沢山食べて栄養を付けな

きゃ。人間に見つかりと捕まってまってろくな目に合わないんだよな、今日は勇気を出して栄養補給。

なんだあの音は!チリーンチリーン、パンパンパン、鈴と爆竹か、人間だな。こっちに来るなよ、おっ近づいてくるぞ、ヤバイ逃げろ!どれ、背伸びして覗いてみるか、釣人だな。僕たちの獣道に戻るしかないな。おいおい、川の通り道に居るじゃないか、長い竿持ってでっかいヤマベ釣ってるぞ、通りすぎるまでイタドリの中で隠れてよっと。

だけどいつまでたっても移動しないぞ、困ったなあ、よ〜しーか八か人間の前(その距離5m)に飛び出て山に帰るしかないか、また釣ったぞ、今だ、枯れたイタドリを突っ切りバリバリバリ、バシャッ、一目散に逃げた逃げた。僕たちの仲間は突然の鉢合わせや、攻撃されると感じる防御本能で人間を襲うこともあるんだ。今回は音で人間の存在がわかったので逃げる事が出来てやれやれ。もうここには来ないでくれよな!お願いだ!

会報委員会より

FAX例会も今号をもって終了となりました。1年間おつきあいをいただき誠にありがとうございます。FAXという連絡方法では文字も小さく読むのにも大変苦労されたことと思います。実は今号は文字が若干大きくなっております。老眼の私にとっては大変ありがたいことです。

次月からはいよいよフェイス・トゥ・フェイスのリアル例会が始まります。お会いできる日を楽しみに。また一年宜しくお願い致します。